

2 特殊詐欺被害の現状と未然防止策について

一般質問 「見張り機器」の導入を要望しました!

朝日新聞の10月11日の記事には、本市の平成30年1月から8月までの特殊詐欺の被害件数が33件と掲載されています。本市の行政人口11万人からすると、他市と比較しても、かなり発生率が高いのではないかと。何か対応策はないのか。

本市の特殊詐欺被害の現状について

本市の平成30年1月から10月までの被害件数は38件、被害額は約8千800万円、県内7位で、人口1万人あたりの被害額が約800万円と最も多くなっています。

ワースト	市	件数	被害額	人口1万人あたりの被害額
1位	船橋市	170件	約2億9千300万円	約460万円
2位	千葉市	165件	約3億2千600万円	約330万円
3位	市川市	113件	約1億7千200万円	約350万円
4位	松戸市	109件	約1億9千800万円	約400万円
5位	柏市	70件	約1億1千300万円	約270万円
S				
7位	鎌ケ谷市	38件	約8千800万円	約800万円

県内で最も多くなっている!

宗川 「見張り機器」とはどのようなものですか。

呼び出し音が鳴る前に通話内容を録音すると相手に警告するものや、自動録音するもの、女性の声を低い男性の声に変えるものなど、さまざまなものが市販されています。

宗川 「見張り機器」の貸出しや購入補助制度はどのようなものですか。

貸出しは、無料モニターになっていただき、期間終了後、継続を希望する方には、機器提供業者と直接、有料で契約します。購入費補助制度は、機器の購入費の4分の3から2分の1程度を補助金として交付するものです。

宗川 本市への「見張り機器」の導入についての見解を伺います。

近隣市の状況や導入効果などの情報収集を行うなどの調査・研究を進めていく必要があるものと認識しています。

まとめと要望

特殊詐欺への対策は、警察や防犯協会、市民団体などの関係機関との連携をさらに密にしていくことが最も重要なことだと思っています。ただ、一向に減らない被害額、それも人口1万人あたりでは、最も高い被害額という状況にあることも事実です。高齢者の財産を守るという点で、「見張り機器」の導入に向けて、なお一層の調査研究を進めるようにお願いしました。



「見張り機器」イメージ

好きです!このまち かまがや!

鎌ケ谷市議会議員

そ う か わ

つなげよう!
~未来のふるさと、かまがや~

宗川よういち

後援会だより 市議会レポート 新春号

宗川よういち事務所 〒273-0122 鎌ケ谷市東初富3-8-47
TEL・FAX 047-412-2189
E-Mail sohkawa-yohichi@jcom.zaq.ne.jp

明けましておめでとうございます。

日頃より、宗川よういち、並びに後援会にご支援をいただきありがとうございます。

昨年7月の鎌ケ谷市議会補欠選挙で当選してから、初めて12月定例会で一般質問を行いました。議場の登壇席に立ちまして大変緊張しましたが、ますます鎌ケ谷市を「ふるさと」と思えるよう、そして、これからも「住み続けたい」と思えるようなまちづくりを進めていき、「未来のふるさと、かまがや」へつなげていきたいという思いが強くなってまいりました。と同時に初心を忘れず、行政での34年間の経験と多彩なネットワークを活かし、市民の皆様と共に「笑顔で暮らせるオンリーワンのまち かまがや!」を目指してまいりたいと思います。

さて、私が12月定例会の一般質問で取り上げましたのは、市長が重点化を図っている5つの大きな柱のうちの一つ「高齢者が安心して暮せる街づくり」の中から、特に高齢者の方の生命・財産を守るということに視点を置いた「救急搬送の現状と改善策について」と「特殊詐欺被害の現状と未然防止策について」の2点です。

是非、市民の皆様のご意見をお聞かせください。
どうぞよろしく申し上げます。

そうかわ
宗川よういち

宗川よういち プロフィール

昭和32年9月 東京都葛飾区新小岩に生まれる。
昭和51年3月 千葉県立国分高校卒業
昭和56年3月 中央大学理工学部卒業
昭和56年4月~ 日立プラント建設(株)
(株)日立製作所と合併
昭和59年4月~ 鎌ケ谷市役所入庁
平成30年3月 鎌ケ谷市役所を定年退職

鎌ケ谷市東初富3丁目在住

鎌ケ谷市青少年相談員 第10~13期
初富小学校おとうちゃんの会
現在、中央大学白葉会 特別会員

家族 妻、娘2人、息子2人の6人家族
趣味 映画鑑賞、山登り、釣り
好きな言葉 一期一会、ありがとう。



1 救急搬送の現状と改善策について

一般質問 駒置き式ガードレールを改善するように要望しました!

救急搬送については、高齢化の進展に伴い、本市も含めて全国的に増加傾向にあります。救急搬送が必要な市民の方は、一刻でも早く病院に着いて、医師の治療を受けたいというのが本心であると思います。

その一方で市内の交通の渋滞が、救急搬送に多少なりとも影響しているのではないかと感じているところ。そのような中、搬送時間を減らして1分1秒でも早く、救える命を確実に救っていく方策はないのか、今出来る改善策があるのではないかと。

市内の2次救急医療機関への救急搬送の現状について

鎌ヶ谷市民が救急車で搬送された人員数

数値:平成29年

5,136人 …65歳以上の高齢者の方が3,104人(全体の約6割)

市外の病院

2,085人
(約4割)

市内の病院

3,051人
(約6割)

そのうち2次救急医療機関

東邦鎌ヶ谷病院

307人
(約1割)

鎌ヶ谷総合病院

2,710人
(約9割)

市外から鎌ヶ谷総合病院への搬送人数

印西市・白井市	877人
船橋市	657人
松戸市	314人
柏市	129人
市川市	109人

合計 4,796人

鎌ヶ谷総合病院には、実に市内外から年間約4,800人の方を救急車で搬送しており、そのほとんどが主要地方道船橋・我孫子線から、市役所とイオンの間の交差点(新鎌ヶ谷駅南入口交差点)を曲がって、鎌ヶ谷総合病院に向かっています。

宗川 新鎌ヶ谷地区の主要地方道船橋・我孫子線が渋滞している時に、救急車がサイレンを止めて渋滞の中で立ち往生していますが、どのようなことが原因だと考えていますか。

通常、緊急車両は一般車両に道を譲ってもらい緊急走行しておりますが、新鎌ヶ谷地区では、駒置き式ガードレールが設置されており、渋滞時には一般車両が道を譲ることができない状態です。

市内2箇所の駒置きガードレールの状況



新鎌ヶ谷駅南入口交差点
(主要地方道船橋・我孫子線)



丸山3丁目ふれあいの森前交差点
(市道41号線)



宗川 市内外から年間約4,800人の救急搬送があること、さらに救急車が止まる原因の新鎌ヶ谷駅南入口と丸山3丁目ふれあいの森前の2箇所の交差点の駒置き式ガードレールが完全に撤去されるまで、まだまだ時間を要することが分かりました。このような状況を踏まえて、市の見解を伺います。

いずれの箇所についても緊急車両を管轄する部署から緊急車両の走行環境の改善要望がある中で、何らかの対応が必要であると考えています。

宗川 例えば、駒置き式ガードレールをラバーポールに変えて、その外側を救急車などの緊急車両専用の優先レーンにすることも考えられますが、どのような改善策が考えられますか。

渋滞時の緊急車両の通行改善は重要な課題でありますので、ご提案の件も含めて調査・検討していく必要があるものと考えています。

宗川 今後、改善策を検討していくにあたって、道路管理者や交通管理者に対して、どのように対応していくのでしょうか。

新鎌ヶ谷駅南入口交差点：主要地方道船橋・我孫子線は、今後新京成線の踏切が撤去された後に、千葉県や警察と供用方法の変更等について協議していきます。この中で渋滞緩和や緊急車両の対応等についても検討していきたいと考えています。また、踏切撤去前の現状の中で対応可能な対策についてもあわせて協議していきます。

丸山3丁目ふれあいの森前交差点：市道41号線は、現状の緊急車両の走行環境の改善について、鎌ヶ谷警察署等と協議の上、対応が可能か検討してまいります。

まとめと要望

2次救急医療機関として鎌ヶ谷総合病院への救急搬送を一例として、質問をしましたが、平成16年4月の新鎌ヶ谷地区の街びらきや平成19年の鎌ヶ谷総合病院の開院など、新鎌ヶ谷地区のまちも大きく変わってきました。それと同時に、この駒置き式ガードレールを設置した時の環境も大きく変わってきています。

「高齢者が安心して暮らせる街づくり」で、特に高齢者の命を守るという点で救急搬送が少しでも速やかに対応できるように、駒置き式ガードレールを改善するようお願いしました。